

岡山市男女共同参画社会の形成の
促進に関する基本計画
〈計画期間：令和4年度～8年度〉

第5次 さんかく プラン

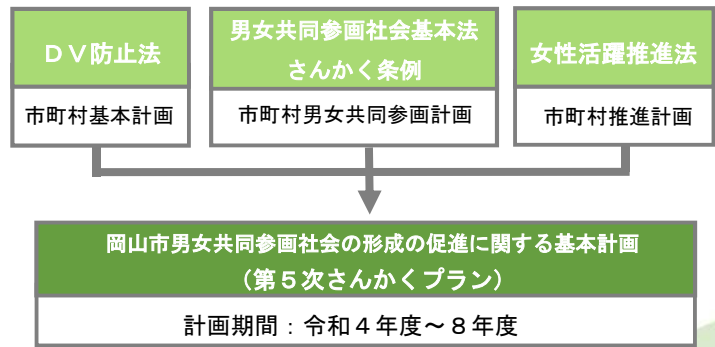
概要版

「性別等にかかわらず、
市民一人ひとりの個性が輝く
「住みよいまち、住みたいまち」の
実現をめざして」

▶ 計画の目的と位置付け

本市では、「さんかく条例」に規定する理念に基づき、男女共同参画社会の実現に向け、本市が取り組む施策を総合的かつ計画的に推進することを目的として平成14年以来5年ごとに「さんかくプラン」を策定しています。

本計画は、「男女共同参画社会基本法」及び「さんかく条例」第9条に規定する基本計画です。また、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護等に関する法律」、「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律」に基づく計画として位置付けます。



▶ 第4次プランの成果と課題

第4次さんかくプランでは、固定的な性別役割分担の解消や男女共同参画を推進する教育・学習、DV対策への取組とともに、平成27年に施行した女性活躍推進法に基づき、女性活躍推進を重点的に取り組んできました。

- 1 「男性は外で働くもの、女性は家庭を守るもの」といった固定的な性別役割分担意識の解消については第1次プランから取り組み、一定程度進んでいますが、依然として根強く残っており、解消にはほど遠い状況です。
- 3 市内企業の課長相当職の女性割合は、1割程度に止まっています。

(参考)

「男性は外で働くもの、女性は家庭を守るもの」という考えに否定的な回答をした人の割合
岡山市 67.3% 全国 59.8% (R1)

(参考)

民間企業の課長相当職に占める女性割合
岡山市 12.8% (R3) 全国 10.8% (R2)

- 2 ワーク・ライフ・バランスについての意識調査では、男女ともに「仕事」と「家庭生活」を優先したいと希望している人が多いですが、現実には、女性は「家庭生活」を、男性は「仕事」を優先している回答が多い結果となっており、意識は変わってきていますが、実態が伴っていません。
- 4 さらに、コロナ禍において、家事・育児負担の増加や非正規雇用労働者の失業、DVの増加・深刻化など、女性に厳しい社会であることが改めて浮き彫りになり、男女共同参画社会の実現には克服すべき課題がたくさんあります。

📖 6ページのグラフ「仕事と生活の調和についての理想と現実」参照



▶ 第5次プランの重点取組

第5次プランでは、第4次プランの課題や新たな課題に対応していくために、以下のことに重点的に取り組みます。

- 1 幼少期から性別等に基づく固定概念を生じさせないよう、固定的な性別役割分担意識や無意識の思い込みなどを認識する学習や啓発などに粘り強く取り組んでいきます。
- 2 女性の非正規雇用労働者や困難な状況に置かれている女性に対して、就業・生活面など環境整備や支援を行います。
- 3 災害への備えや災害時の対応の取組に男女共同参画の視点を取り入れ、地域での防災活動を担う自主防災組織等の方針決定過程への女性の参画拡大を促進します。
- 4 DVや性被害・性暴力、セクハラなど女性に対する暴力の根絶に向けて、関係団体等と連携した被害者支援や啓発を実施します。
- 5 企業等をはじめ社会全体に方針決定過程への女性の参画拡大やワーク・ライフ・バランスの推進について、継続的に効果的な取組や働きかけを行います。

▶ 計画の基本理念

～岡山市のめざす男女共同参画社会～

「さんかく条例」がめざす「性別等にかかわらず市民一人一人の個性が輝く『住みよいまち、住みたいまち』の実現に向けて、男女共同参画社会推進センター（さんかく岡山）を拠点として、市・市民・事業者・自治組織など、多様な主体の協働により、持続可能な開発目標「SDGs」を意識して連携・協調しながら推進します。



I 性別等にかかわらず、人権や個人の生き方が尊重される社会

岡山市のめざす男女共同参画社会

性別等にかかわらず、市民一人ひとりの個性が輝く
「住みよいまち、住みたいまち」

II 安心して暮らせる社会

III 能力を発揮し活躍できる社会

市・市民・事業者・自治組織等による協働



▶ わたしたちがめざす未来図

家庭では



家事や育児、介護などはお互いを尊重し、共同して行い、充実した暮らしを送っています。

学校では

人権尊重を基盤にした男女共同参画について理解を深め、多様性を認め合う心を育てています。



職場では

誰もがワーク・ライフ・バランスを実現した働きやすい職場環境の中で、能力を十分に発揮しています。



地域では

性別等や慣習で役割を決めず、町内会やPTA活動等さまざまな地域活動が活発に行われています。



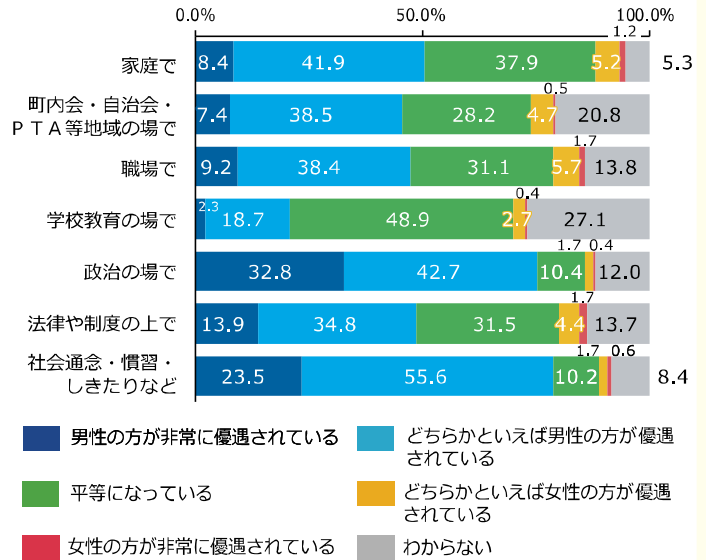
基本目標 1
男女共同参画についての理解の促進

- 男女共同参画を推進する教育や生涯学習の充実と人材育成
- 国際的な取組等の情報提供と外国人の事業への参加促進
- 多様な性のあり方についての正しい知識や理解の促進

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
小中学校において男女平等の内容を含んだ授業を実施したクラスの割合	100% (R2)	毎年 100%
保育所・幼稚園・認定こども園において男女平等の視点から保育・教育や保護者への啓発に取り組んだ園の割合	100% (R2)	毎年 100%
「さんかくカレッジ」の受講者数	383人 (R2)	毎年 400人
市民への性の多様性についての啓発事業の参加者数	222人 (R2)	毎年 250人
市職員への性の多様性の理解のための研修の受講者数	265人 (R2)	毎年 320人

男女の地位の平等について



資料：岡山市 男女共同参画に関する市民意識・実態調査結果報告書（令和2年度）

- 男女の地位については、政治の場や社会通念・慣習・しきたりなどで男性が優遇されていると感じる割合が高くなっています。
- あらゆる場において、幅広い年齢層に、性別やライフステージ、発達段階などに応じた学習機会の充実や、意識啓発が必要です。

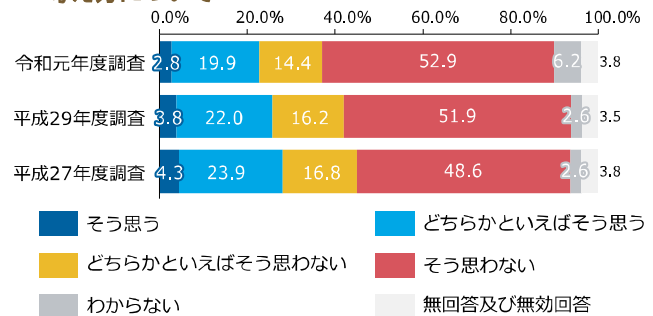
基本目標 2
固定的な性別役割分担意識の解消

- 固定的な性別役割分担意識の解消に向けた効果的な啓発
- 固定的な性別役割分担意識にとらわれない子どもの頃からの様々な分野への興味の拡大
- 男女共同参画の視点に立った広報や多様な媒体を通じた啓発の推進

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合	67.3% (R1)	79.0% (R7)
「さんかくウイーク」への参加者数	929人 (R2)	毎年 2,000人

男性は外で働くもの、女性は家庭を守るものという考え方について



資料：岡山市市民意識調査報告書（令和元年度）

- 固定的な性別役割分担意識については「男性は外で働くもの、女性は家庭を守るもの」という考え方について肯定的な回答をした人の割合は低下しつつありますが、いまだに根強く残っています。
- 慣習やしきたりの中に残る固定的な性別役割分担意識を見直し、その背景にある偏見・固定観念や無意識の思い込みなどにとらわれないことが必要です。

基本目標 3

生涯を通じた健康支援

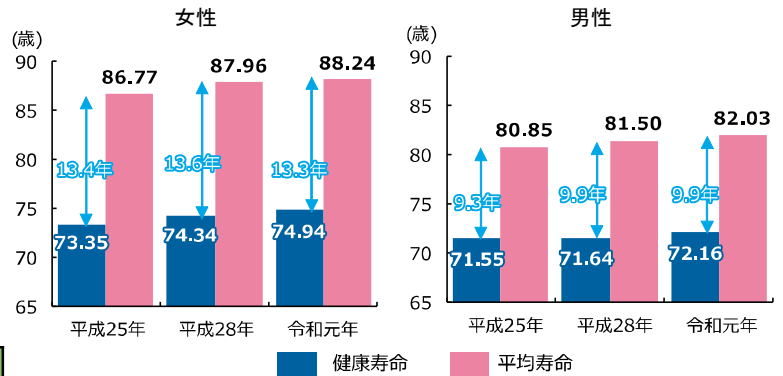
- ・思春期・妊娠・出産等、ライフステージに応じた女性の健康支援
- ・生涯にわたる心と身体の健康づくりのための知識の啓発
- ・性と生殖の健康と権利などについての理解の促進

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
市の実施するエイズ・性感染症・性教育に関する出前講座開催数	78回 (R2)	毎年80回



■ 岡山市の健康寿命



資料：国民生活基礎調査のデータをもとに岡山市が算出

※健康寿命とは「日常的に介護を必要としないで、自立した生活が出来る生存期間」のこと (WHO)

- ・女性は、男性に比べて健康寿命と平均寿命との差が大きい。
- ・特に女性は妊娠・出産のみならず、思春期・更年期など生涯を通じて男性とは異なる健康上の問題に直面し心身や生活の状況が大きく変化することがあるため、女性特有の問題を踏まえた上で各ライフステージに応じた支援の取組や相談体制の充実が必要です。

基本目標 4

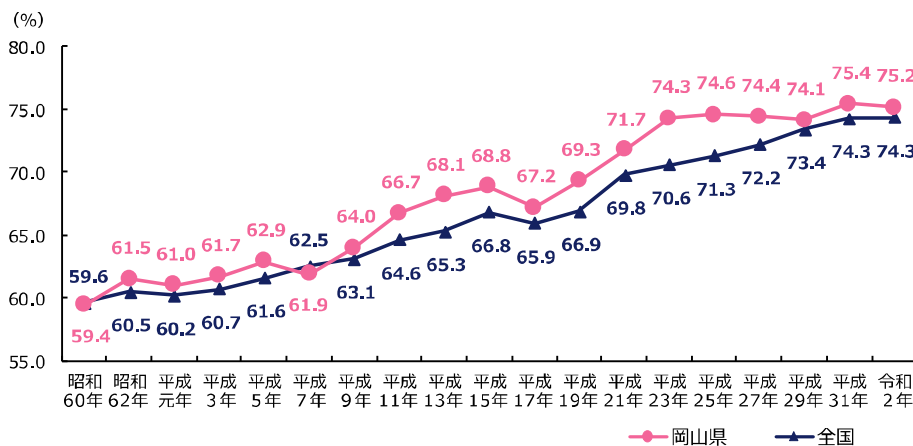
困難を抱える女性への支援

- ・女性や子どもの貧困対策の推進
- ・非正規雇用労働者への支援
- ・ひとり親家庭（母子家庭）への自立に向けた支援
- ・困難や不安を抱える人への支援

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
女性のための生活や就労を考える講座の参加者数	-	毎年50人

■ 男女間の賃金格差の推移（所定内給与額）（岡山県・全国）



資料：厚生労働省「賃金構造基本統計調査」

- ・男女間の賃金格差は徐々に縮まってはいます。
- ・新型コロナウイルスの影響で、多くの女性の非正規雇用労働者が失業するなど、女性の貧困や男女の待遇面・賃金格差が改めて浮き彫りになりました。
- ・貧困、就労状況、ひとり親家庭、社会からの孤立など、様々な困難を抱える女性の状況に応じた支援が必要です。

基本目標 5
災害対応における男女共同参画の促進

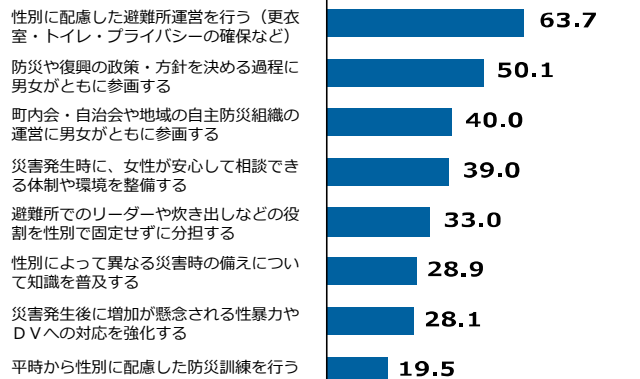
- ・地域防災における方針決定の場への女性の参画拡大
- ・女性の視点を取り入れた防災の啓発
- ・避難所における性別に伴う困りごとへの相談体制の構築

- ・防災においては、性別に配慮した避難所運営や方針決定過程に男女が共に参画することが求められています。
- ・平時から、男女共同参画の視点を取り入れた防災対策を推進するとともに、町内の自主防災組織などの方針決定の場への女性の参画拡大の促進が必要です。

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
女性の視点を取り入れた防災ハンドブックの配布数	-	50,000冊 (R8.4.1)

■ 防災対応において、男女共同参画の視点から必要なこと



資料：岡山市 男女共同参画に関する市民意識・実態調査結果報告書（令和2年度）

基本目標 6
DVや性暴力・性犯罪の防止と被害者支援（DV対策基本計画）

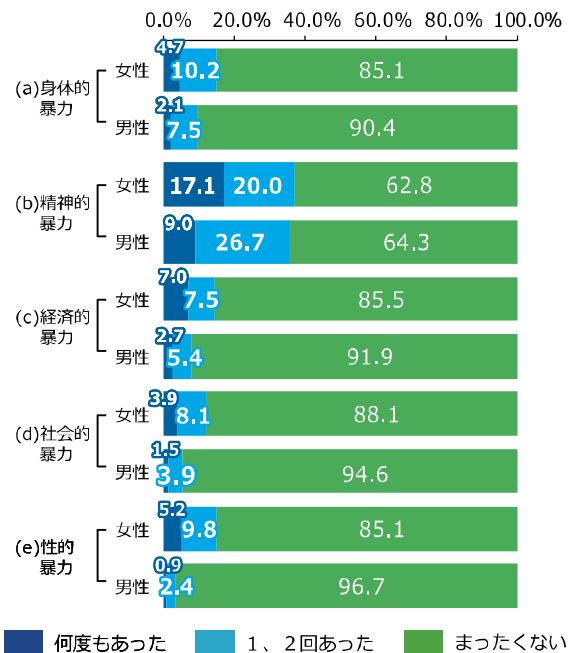
- ・暴力の未然防止・再発防止のための市民への啓発
- ・デートDVや性暴力・性犯罪被害から小中高生等の若年層を守るための教育現場における啓発
- ・被害者の早期発見のための環境づくりや相談体制の充実と関係機関の連携の強化
- ・被害者の保護・自立に向けた支援

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
市の実施するDV・デートDV・性暴力・性犯罪防止啓発事業の参加者数	224人 (R2)	毎年500人

- ・精神的暴力は男女とも3割半ばの人が経験しており、その他の暴力は女性が男性より多く経験しています。
- ・DV被害者への支援・相談体制を充実するとともに、DVが人権を侵害する行為であるという認識や理解を促進することが必要です。
- ・デートDVや性暴力・性犯罪の防止のためにも、若年層を含め広く市民に意識啓発を行うことが重要です。

■ DV・デートDVの経験の有無について



■ 何度もあった ■ 1、2回あった ■ まったくない

資料：岡山市 男女共同参画に関する市民意識・実態調査結果報告書（令和2年度）

ストップ! DV



一人で我慢しないで早めに相談を!

岡山市男女共同参画相談支援センター
(配偶者暴力相談支援センター)

【相談ほっとライン】

☎ 086-803-3366

受付時間 月・水～土 10:00～19:30
日・祝 10:00～16:30

基本目標 7

ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・ワーク・ライフ・バランス推進のための意識改革に向けた啓発
- ・長時間労働の見直しと多様な柔軟な働き方改革の促進
- ・仕事と妊娠・出産・子育て・介護等の両立支援
- ・子育てや介護など家庭生活への男性の参画促進

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
保育所等の待機児童数	31人 (R3.4.1)	0人 (R8.4.1)
放課後児童クラブの入所希望に対する入所児童の割合	78.8% (R3.4.1)	100% (R8.4.1)
市職員のうち男性職員の育児休業取得率	一般職員： 27.1%(R2)	50.0% (R7)
	学校教職員： 6.6%(R2)	
仕事と家庭の両立支援に取り組んでいる企業の割合	52.1% (R3)	70.6% (R7)

基本目標 8

働く場における女性活躍の推進

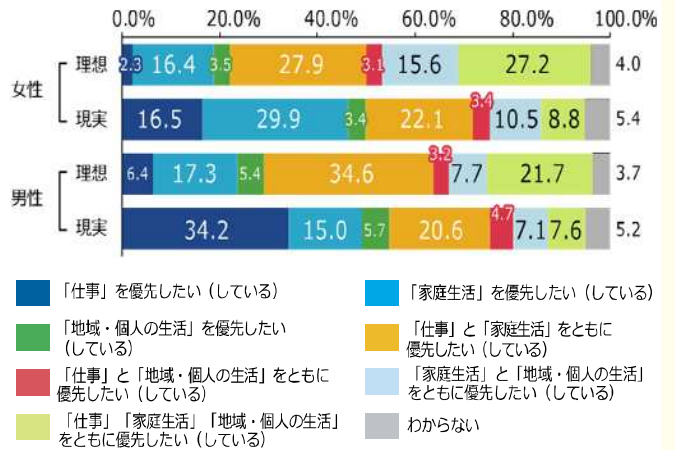
- ・女性の希望に応じた働き方の実現に向けたキャリア形成や再就職・創業への支援
- ・誰もが能力を発揮できる職場環境づくりについての企業への啓発や優れた取組の顕彰・情報発信
- ・ハラスメント防止対策の推進

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
岡山市女性が輝く男女共同参画推進事業所の認証件数	31件 (R3.4.1)	70件 (R8.4.1)
市の実施する再就職支援講座受講者のうち就職に向けて活動した人の割合	66.7% (R2)	毎年 80.0%
市の実施する企業における女性活躍推進、ワーク・ライフ・バランスの啓発講座などの受講者数	330人 (R2)	毎年 500人

- ・女性が働き続けるためには、子育て支援や介護サービスの充実と同時に、多様な働き方を可能とする職場環境の整備や女性の継続的な就業や再就職への支援等、労働局や経済団体など関係機関と連携した取組の強化が必要です。

■ 仕事と生活の調和についての理想と現実



資料：岡山市 男女共同参画に関する市民意識・実態調査結果報告書（令和2年度）

- ・ワーク・ライフ・バランスの重要性について、特に企業の意識改革を図るとともに、男性の家庭生活への参画促進に向けた取組が必要です。

基本目標 9

政策・方針決定過程への女性の登用と参画拡大

- ・行政の政策・方針決定過程における女性の登用と参画拡大
- ・企業や各種団体等における女性の参画拡大

【数値目標（行政が事業を行ううえで目標とする数値）】

数値目標	現状値	目標値
市内企業における管理職（課長相当職以上）に占める女性の割合	10.9% (R3)	15.0% (R7)
市職員のうち課長級（校長級）以上に占める女性職員の割合	一般職員：13.8%※ (R2.4.1)	20.0%※ (R8.4.1)
	学校教職員：18.0%※ (R2.4.1 校長級)	

※【岡山市特定事業主行動計画（R3.4.1）】より

- ・市職員をはじめ、民間企業や女性の参画が少ない地域活動等においても積極的に女性の登用を促進し、政策・方針の決定過程における男女共同参画を進めていく必要があります。



岡山市男女共同参画社会推進センター さんかく岡山

あなたの個性と能力を発揮することができる男女共同参画社会の実現、そして女性が輝くまちを、市民の皆さんと一緒にめざす拠点施設です。

講座・講演会 などの開催

身近な話題やテーマを取り上げた講座・イベントや、専門知識を深く学べる講演会・ワークショップなどを開催しています。

交流や活動の 支援

登録団体・市民団体の皆さんの企画と一緒に事業化する「市民協働事業」を実施しています。

情報提供

男女共同参画・DVなどに関する情報提供やDVD館内視聴・図書の出貸などを行っています。

調査及び研究

男女共同参画実現のための調査や研究を行っています。

相談

男女共同参画に関する取組や事業に関する相談をお受けしています。

情報発信

年1回情報誌「DUO」を発行したり、Twitterなどで情報発信を行っています。

託児

託児ボランティアによるお子様の一時預かりを行っています。

(対象年齢：生後6か月～就学前) 有料・予約制

※ 講座・イベント等のさんかく岡山の施設情報はこちらから



住所 〒700-0822
岡山市北区表町三丁目14番-201号
(アークスクエア表町 2階)
電話 086-803-3355
FAX 086-803-3344
<E-mail>sankaku@city.okayama.lg.jp
<https://www.city.okayama.jp/0000005879.html>

開館時間 月・水～土 9:30～20:00
日・祝 9:30～17:00

休館日 火曜日、年末年始

(火曜日が祝日の場合は開館し、次の平日が休館となります)



自分づくりは表町から始まる～「さんかく岡山」

第5次さんかくプラン

岡山市男女共同参画社会の形成の促進に関する基本計画

<計画期間：令和4年度～8年度>

(概要版)

岡山市市民協働局市民協働部

女性が輝くまちづくり推進課

〒700-8544 岡山市北区大供一丁目1番1号

Tel 086-803-1115

Fax 086-803-1845

令和4年3月発行